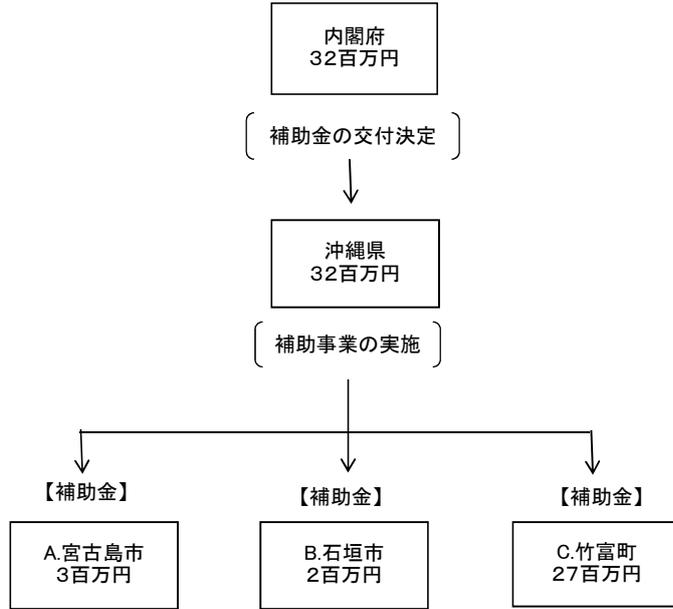


平成23年 行政事業レビューシート (内閣府)

事業名	環境共生型観光地形成支援事業		担当部局庁	内閣府政策統括官(沖縄政策担当)		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成22～23年度		担当課室	企画担当参事官室		企画官 和久屋 聡		
会計区分	一般会計		施策名	9. 沖縄政策の推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	沖縄振興特別措置法		関係する計画、通知等	沖縄振興計画(平成14年7月 内閣総理大臣決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	沖縄における入域観光客数は着実に増加しているが、一方で、観光客数の増加に伴う自然環境及び地域社会等への影響が懸念されている。このため、観光資源の保全と利用の調和を図りながら、沖縄観光を持続的に発展させていくことを目的として、市町村のハード・ソフト両面の取組みの支援を行う。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	観光資源への影響が見られる観光地における市町村の取組みの支援 ①環境保全に配慮した観光資源の利用のルール作り、啓発資料作成などの取組み支援(ソフト事業) ②エコトイレ、遊歩道、案内板、駐車場などの環境保全型施設の整備(ハード事業) 事業主体: 沖縄県 補助率: 2/3							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	-	-	35	41		
		繰越し等	-	-	0	-		
		計	-	-	35	41		
	執行額	-	-	32				
	執行率(%)	-	-	91%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	22年5月	23年5月	目標値 (24年5月)
	水浴場判定基準(環境省)に基づき、沖縄県が実施する主要水浴場(年間利用者1万人超)の水質調査(水浴シーズン前)において、調査対象箇所のうち、適正の最上位であるAA判定の割合		成果実績	%		77.4	87.5	90
			達成度	%			-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	支援した取組件数		活動実績 (当初見込み)				4	4
単位当たりコスト	8(百万円/件)		算出根拠	市町村の取組支援のための補助金(総額)32百万円/4件				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	計							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	沖縄の観光については、県のリーディング産業として、自立型経済の構築のため、その振興は国の責務である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	支援の実施にあたっては、関係者による協議会立上げ、海域の管理などに対する環境省の補助事業との間で実施個所の重複が生じないよう、事前に調整している。
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	国内唯一の亜熱帯性気候という特色から、沖縄のエコツーリズムは高く評価されている一方で、観光客による自然などの観光資源への損傷等も見られる。平成21～22年度に全県を対象にした調査において抽出した問題箇所の中から、優先度の高い箇所等を対象に事業を実施。珊瑚礁を破壊するオニヒトデの駆除、観光客の入域による土壌の踏み荒らし、崩壊を防ぐための遊歩道の整備などにより、自然環境の保全、観光客の分散化などの効果が見られるほか、現況の調査結果から利害関係者の協力が得られたなどにより、観光資源の利用と保全の共生に寄与。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	事業の効果を検証し、得られた成果を反映できるよう総合的な取組を図るべき。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
予算監視・効率化チームの所見を踏まえ、適正な予算の執行に努めたい。			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A.宮古島市			E.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
ソフト事業	現況調査、ガイドライン作成、オニトデ駆除等	3			
計		3	計		0
B.石垣市			F.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
ソフト事業	現況調査、検討委員会の運営、利用ルールの作成等	2			
計		2	計		0
C.竹富町			G.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
ハード事業	木道、カヌー乗降場の設計、整備	25			
ソフト事業	現況調査、利用ルール策定等	2			
計		27	計		0
			H.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					